

男女共同参画社会の実現をめざして

一人ひとりの意識改革や社会的支援が重要と認識

男女共同参画では、市民が少しでも講演会にふれる機会を創出することで、男女共同参画の意識を持つことができるよう、市民が参加しやすいバスツアーを企画し、意識高揚を図っています。今回のバスツアーは、25人の市民参加を得て11月18日・19日に札幌市の女性プラザ祭の講演会に行ってきました。

「女も男もわいわいバスツアーに参加して」

宮本幸子

講演テーマ「女性の目で見える空もよう」環境問題から身近な気象情報まで」

講師の菅井貴子さん（フリーキャスター・気象予報士としてNHK毎朝7時45分から出演）の講演は会場参加者と会話のある楽しく、そしてためになるいいお話しでした。ご自身の話では、大好きな北海道にきた経緯、電車内でお化粧をしている女性に対し「あなたがみんなの前でお化粧している、女性みんなが恥ずかしい思いをしているのよ」と諭した素敵な女性との出会い、子ども3人を育て上げた星澤幸子さんから人生に対するアドバイスをもらっていることなどを、未婚者とし

て結婚も含め現代女性の等身大の課題について、ユーモアを交え吐露していました。また、仕事に就いた事務所から「お天気お姉さんには天井がある」と言われたことも、身近な経験を「女性ではじめての」に沢山挑戦していることに繋げて「お天気お姉さん」を目指していきたいとソフトに表明し、数少ない女性気象予報士としてこれからも頑張る姿がありました。専門的なことでは「天気は地球の言葉、異常気象は地球の悲鳴」として環境問題がセンセーショナルに報道されていること（北極・南極の氷解やグリーンランドの融解、台風風の増や勢力、夏の猛暑）の誤解と称して、判り易く解説してもらいました。

また、女性と男性が求める天気予報や質問内容の違い、本州の常識が北海道では通じないこと、アメダスは北海道が1番多く設置してあること、降水確率、人間の五感順位など、まだまだ多くの話題がありました。また、温暖化の問題では、「女性が家庭のキーマンであることから、女性の心掛け次第で二酸化炭素の削減ができる」と、強い激励もありました。

天気に関する質問では、小学生から全くないので、是非質問をもらって、企画を立てて対応したいとのことでした。名寄の小学生に質問をお願いしたいと思います。



講演を行う菅井貴子さん

「北海道警察本部見学とDV（ドメスティックバイオレンス）の講話」

道警本部は、寒い中入り口に凜として警備職員が立っているのが緊張しましたが、庁舎ホールがホテルのロビーのようであったのにも驚きました。見学では、まず警察官の制服の展示で、制服や装備用具の変革がリアルに展示してあり、見学者の中からは、以前の威圧感のある制服が、事件の多い今の時代に合っているのではとの発言も出ていました。

次に、通信指令室、交通管理センターを眼下に階上から眺めて説明を受けましたが、通信指令室の大きなスクリーンには「名寄市の皆さん」の歓迎文字と名寄地図が大きく映し出され嬉しい思いがしました。ここでは女性の職員もいて、110番通報の受理と同時に近くの警察署やパトカーに指令を行うことで、1日1,000件程度の通報が有り、説明を受けていたわずかな間にも5件の通報が入り、卓上の緑・橙・赤のランプが点灯して、緊迫した空気が流れていました。

配偶者やパートナーからのDVに対する相談件数は年々増し、平成13年には90件だったのが、平成20年には660件、その中で保護命令が出たのが116件、以外の検挙57件など、DVの現状を伺い、関係機関が連携して多くの悩んでいる被害者を支援していることが判りました。

今回のバスツアーでは、男性ももっと参加して欲しいと思います。男女共同参画社会を形成するに当たり、男女が対等に支え合っていくためにも、1人ひとりの意識改革やDV被害者が安心した生活ができるよう社会的支援が最も重要だと認識しました。バスの中では、参加者のDVチェックやアンケートの速報を発表し、和気あいあいの中で男女共同参画社会への意識も深まったところで帰途に着くことができました。

問い合わせ

市役所名寄庁舎3階 企画課
男女共同参画担当

01654 2111

内線 3308・3309

✉ y-mwkyodo

@city.nayoro.lg.jp